		2 7 th (55 ++ 1/4) (55	++料の口筋体	(1.4.0)			長仕上施工(鋼製下地工事作業)	1. 支持地盤	(3. 2. 1) (4. 2. 4) (4. 3. 4) (4. 3. 5) (4. 4. 4) (4. 5. 5) (4. 5. 6)
3	書 築 工 事 特 記 仕 様 書 【令和7年4月版】	8. 建築材料等	材料の品質等 本工事に使用する材料は、設計図書			・バル	®板金(内外装板金作業) レコニー施工(金属パルコニー工事作業)	4	・杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)
			とし、その材料にJIS又はJASのマーク の承諾を受ける。	の表示のある場合を除いて監督職員			『(左官作業) ルシ施工(ビル用サッシ施工作業)	地	・図示による・直接基礎
I 工 事 概 要			特定のものが特記された場合は、設 と同等のものとする。ただし、同等の				ラス施工(ガラス工事作業) カドア施工(自動ドア施工作業)	業	支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む)
1 工事番号・名称   2 エ 事 場 所			を受ける。	0 17 C 7 C 7 C 7 C 7 C 7 C 7 C 7 C 7 C 7		カーテンウォール工事・カー	-テンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業) ノシ施工(ビル用サッシ施工作業)	事	・ 図示による・ ・ 地盤の載荷試験(平板載荷試験)
3 用途地域等 都市計画区域(	・ 内 · 外) 用途地域 ( )		環境への配慮	(1. 4. 1)		・ガラ	ラス施工(ガラス工事作業)		・行う 試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による
防火地域等(・その他の地域・	防火 ・ 準防火 ・ 指定なし ・ 22条 )		本工事に使用する材料の選定及び施 クハウスマニュアル」に留意し、揮発				<u>も(建築塗装作業)</u> 長仕上施エ │ ・プラスチック系床仕上工事作業	2. 既製コンク	(4, 2, 2) (4, 3, 1) (4, 3, 3) ~ (4, 3, 6) (4, 3, 8)
4 主 要 用 途	AULE (		影響に配慮する。				・ボード仕上工事作業	リート杭地業	杭の種類
5 敷 地 面 積 6 エ 事 の 概 要			ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散	量は、次のとおりとする。		- 表装			<ul><li>遠心カ高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭)</li><li>プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭)</li></ul>
			ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 1) JIS及びJASのF☆☆☆	の場合の建築材料		排水工事 ・配管	(建築配管作業)		<ul><li>外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)</li><li>SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490</li></ul>
			2) 建築基準法施行令第20条の	7第4項による国土交通大臣認定品			□標示施工 ・溶融へ。イントハント、マーカー工事作業 ・加熱へ。イントマシンマーカー作業		杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等
			3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着			<u>植栽工事  ・造園</u>	【 (造園工事作業)		種類 杭径   厚さ 杭長
			b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着	剤及びホルムアルデヒドを放散させ	(A) 完成図等	   営繕工事完成引渡要領(令:	和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)		上杭
			ない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散さ	せない涂料等使用		により作成する。			試験杭 中杭 下杭
7 別途工事				剤及びホルムアルデヒドを放散させ		※ 白焼縮小(A3版)2つ			本杭中杭
8 そ の 他		9. 室内の空気中		合物の測定 (1.5.9)		※ 完成図面 JWW形式又はD 及びPDF形式	DVD-R等2部		下杭
9 特記仕様書の範囲		の化学物質濃 度の測定		「室内空気中化学物質の採取方法					
特記仕様書は、本 ・ 構造特記仕様	特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。 書・・・ 外構工事特記仕様書・・・ 植栽工事特記仕様書	及切测定	造所の定める仕様により行う。	るはか、 1位取り式ではサンプラー表	① 完成写真	※ 作成する 作成   営繕工事写真撮影要領に	にしない :より、完成届に添付する完成写真とは		14 to 40 mm/ / lb
・ 解体工事特記	仕様書・・電気設備工事特記仕様書・・機械設備工事特記仕様書・・		測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド(濃度抗 ※ スチレン (濃度抗	旨針値 100μg/m3・0.08ppm) 旨針値 220μg/m3・0.05ppm)		別に次のものを原本(電子 なお、原本は、DVD-R等で扱	・媒体)とともに監督職員に提出する。 提出すること。		杭先端部形状 ・開放型 ・半開放形 ・閉ぞく形
I 建築工事	仕 様		※ トルエン (濃度排	旨針値 260 μ g/m3 · 0.07ppm) 旨針値 3.800 μ g/m3 · 0.88ppm)		分類 サイズ 撮影箇	所数 部数 提出様式		工法
	に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の			自動作		※カラー   ※ L   ※営繕工  ・白黒  ・2 L   撮影要	<b>受領の ※1部 ポケット式程度</b>		・セメントミルク工法 ・図示による
標準仕様書に記載る	仕様書(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、 おていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)(以下		測定する室等:(	)			写真程度   ・ 部   ・フリーアルバム 箇所 枚   (台紙寸法323×270程度)		・特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
	という。)「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「木造 。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通		採取方法:吸引方式又は拡散方式とし	,拡散方式では8時間採取する。		アルバルけ 監督職員との	・		α = 250を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による
仕様書」という。) 2.特記仕様	による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。		測定結果等報告書の提出	uu <del>+</del> 7	⑥ 設備工事との				工法
	こ○印のついたものを適用する。 ●印のついたものを適用する。●印のつかない場合は※印のついたものを適		次の事項を記載した報告書を1部提  a測定結果		取合い		1. 取り合い等が検討できる施工図を提出して		・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀り拡大根固め工法
用する。⊙印	上⊗印のついた場合は、共に適用する。			室外・室内) , 大候, 風の状況, , 窓の開閉状況,機械換気量,工事	(7)/II IIA***				・ 杭の精度
	載の ( ) 、< >及び [ ] 内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、 「様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		完成時から測定日までの日数) c 試料採取方法, 測定方法, 使用し	た測定機器	⑦ 火災保険等	保険の種類 ※ 火災保			水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による
章 項 目 ① 一般事項	特 記 事 項  ① 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上		測定対象物質が指針値を超える濃度で	検出された場合は、引渡は受けない。		保険期間 ※ 工事着	F手から工事目的物引き渡しまで		建込み時の杭の鉛直度 ・1/100以内 ・評定等の評価内容による
一般争填	# 指示に従うこと。  ・ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の		※ 室内VOC濃度の測定結果に関する		18. 住宅瑕疵担保 責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく ・あり(新築住宅の場合)	保険の加入又は保証金の供託の義務付け ・なし(新築住宅以外の場合)		杭の継手の工法
	円滑な進捗をはかること。		施設管理者に依頼する。	自曲の自然地は「の」はからこうできた。					・アーク溶接継手 溶接材料
般	<ul> <li>施工体系図を現場に掲示すること。</li> <li>・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督</li> </ul>		総揮発性有機化合物の測定は「24章 総指	軍発性有機化合物(TVOC)測定」参照	① 仮囲い	※ 設ける · 設けな   ·キャスターゲート() =	:い 仮囲いの位置及び延長は図示による。 - ,W= )× 箇所		・標準仕様書7.2.5(1)(2)による・
般共通事項	職員に提出すること。	40 4554 (-1144 -		to State 1 I am a few dates to 1 I del a am	2	・シートゲート(H=	, W= )× 箇所		・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法
項	※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による ※調査に先立ち調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること	10. 特別な材料の 工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」 法は、当該製品の指定工法とする。	に記載されていない特別な材料の工	仮 ② 危害防止	※ シート張り ・ 金網	養生		※評定等を受けた工法
②. 適用基準等	調査範囲 ※ 図示  ・ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)				工 ③ 交通誘導員	<ul><li>配置する( 日 ×</li></ul>	人 = 人日) ※ 配置しない		杭頭の処理等   ・処理しない
₩ 超用整件等	定成工事執行及所(昭和33年3万台 水赤成別 33 5万)     宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱     建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)	① 建築基準法に よる風圧力等		3) (14.7.3) (16.13.2、14.5) (23.5.4) 建築基準法の指定	4. 揚重機械器具	・ トラッククレーン ( t			・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む)
	<ul><li>・ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版)及び</li></ul>	の指定	<ul><li>・ 合成高分子系ルーフィングシートエ</li><li>・ 外壁乾式工法 ・ 長尺金属板葺</li></ul>	法 風速(V0) ※30 · 地表面粗度区分 ·Ⅱ ·Ⅲ		· ( t	吊り)×   日		・図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	工事写真撮影ガイドブック<建築工事編及び解体工事編> (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年度版)		<ul> <li>・ 折板葺 ・ 粘土瓦葺</li> <li>・ アルミニウム笠木</li> </ul>	多雪地域の指定・有・無	5. 監督職員事務所	所 ※ 設けない(請負者事務所 ・ 設ける(規模 ㎡	に打合せ会議室を確保する) 発度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否)	3. 鋼杭地業	(4.2.2) (4.4.3) ~ (4.4.6) 鋼杭の材料
- 107 -15 447	· 建築構造設計基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年版)		・オーバーヘッドドア			備品(	)		・図示による
3. 概成工期	工事工期より 日前 (1.2.1) ※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) (1.1.4)		・ ガラスブロック ・ 屋上緑化		⑥. 工事表示板	※ 設置する	<ul><li>設置しない</li></ul>		杭の種類、寸法、継手の箇所数等
(CORINS)の 登録	受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、 契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテ	②. 設計G.L.	   ※ 図 示 ・ 現状平均地盤高			古橋工事における工事及び   土木部営繕課・設備課制定)	『コスト表示要領(令和6年4月1日宮城県 による。		
豆蚜	の受領書を、監督職員に提出すること。	③ 技能士		(1. 5. 2)	⑦. 事業コスト	・ 設置する(5億円以上の3			試験杭   中杭
⑤. 発生材の	<ul><li>適用しない</li><li>発生材の処理 (1.3.11)</li></ul>		・ 下表で技能士を適用することとした 置する。		表示板	営繕工事における工事及び 土木部営繕課・設備課制定)	<sup>ペ</sup> コスト表示要領(令和6年4月1日宮城県 による。		本杭中杭
処理等	- 引波しを要するもの ( ) · 特別管理産業廃棄物 ( ) (1.3.11)		※ 下表で技能士を適用することとした 士を配置する。	職種に、1級、2級又は単一級技能	8. 工事用水	構内既存の施設・利用で			下杭
	受入れ施設名・所在地(km)		※ 下表で技能士を適用しないとした職		9. 工事用電力		きる(※有償 ・無償) ※ 利用できない		
	・再生資源化を図るもの 種 類		工事種目         技能検定職種(技 仮設工事           ・とび(とび作業	(1)	① 工事用通路	横内成存の施設 ・ 利用で ※ 指定しない ・ 指定			# # # T # T * *
	・ セメント コンクリート塊		鉄筋工事     ・鉄筋施工(鉄筋       コンクリート工事     ・型枠施工(型材	上事作業)		水 相座しない ・ 相座			特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
	・ アスファルト コンクリート塊		鉄骨工事・鉄工(構造物鋭		①. 足場等		(2.2.4) すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労		α = 250を採用できる工法 ・図示による ・上記以外の特定埋込杭工法 ・図示による
	<ul><li>・ 建設発生木材</li><li>・ 建設汚泥</li></ul>		コンクリートブロック・ALCパネル ・押出成形セメント板工事	E工(ALCパネル工事作業)			よるものとし、設置については「手すり先行工  する基準」及び「働きやすい安心感のある足場		工法 ( )
	・現場において再利用を図るもの(		防水工事・防水施工・	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業		に関する基準」によること。			杭の継手の工法 ・アーク溶接継手
	・その他の廃棄物(安定型)(       )         受入れ施設名・所在地(km)		.	アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業	① 埋戻し及び	→ ■種別 ・A種 ※B種	· C種 · D種 (3. 2. 3) (表3. 2. 1)		形状 ・JIS A 5525による ・
	・その他の廃棄物 (管理型)( ) )		.	塩化ビニル系シート防水工事作業	盛土の種別	C種の場合 建	設発生土受入数量 m <sup>2</sup>		溶接材料
	上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定する		.	シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ防水工事作業	+		生場所 (2.0.5)		・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
	ものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。			FRP防水工事作業 	土 ② 建設発生土の   工	<ul><li>・ 構内指示の場所にたい積</li></ul>	ける。		工法 ※評定等を受けた工法
⑥. 電気保安	<ul><li>適用する ※ 適用しない (1.3.3)</li></ul>		石工事       ・石材施工(石張 ・タイル工事	・イル張り作業)		・ 構外指示の場所に搬出す 受入れ施設名・所在			杭頭の処理等
技術者 7. 事故報告	(1. 3. 9)		木工事   ・建築大工 (大工   屋根及びとい工事   ・建築板金 (内外	工事作業)	3. 有害物質含有	・ 有害物質の含有を調査す	<del>-</del> る。		<ul><li>・処理しない</li><li>・処理する</li></ul>
	工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するととも に、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに		是来你是 (1777)	properties (1 P) P/P/	調査	調査範囲及び項目			〜 ユケス (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による
	監督職員に提出する。(宮城県HP「事故発生報告」参照)				□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	目日 調査者氏名 設	計者氏名 □ 工 事 名 称		全葉 図面 No
				宮城県仙台市青葉区本町37 電話 022-211-326	」□○钳「万┃	コロ 副王日氏石 欧			土木   凶胆 NO
				FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課			図面名称	] LL +± == /1\	S c a l e
I					1	1 1	₩ 特 🗟	己 仕 様 書 (1)	

4. 場所打ちコン クリート杭 4 地業		6. 特殊な鉄筋 継手	・機械式継手 適用箇所 ※図示による	~5.5) 1. 鉄骨の 製作工場	(7.1.3) ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下 記のグレード以上の工場	15. 溶接部の試験	溶接部の外観試験 (7.6.12) 平12建告第1464号第二号に関する試験方法等 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2
地業工事	・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法		性能(H12建告第1463号に適合するもの) ・A級 ・機械式継手の種類( 鉄筋相互にある。	鉄骨工事	· S · H · M · R · J · 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 ※ 施工監理技術者(※配置する ・配置しない) (7.1.4)		受入検査による ・抜き取り検査() ※抜き取り検査(2)  JASS 6 付則(5 鉄骨精度検査基準)の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS6 10.4 (受入検査) e.溶接部の外観検査()から(5)までによる。
	鋼管巻き材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 拡底杭工法(安定液 ・ 使用する ・ 使用しない) ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・		※図示による ・	2. 鋼材の種別	種類の記号     適用箇所     規     格       ※図示による()     ※JISによる・       ※図示による()     ※JISによる・		ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の 試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書 7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。
	*		・ 冷食機士 (5.6.1 適用箇所 ※図示による 性能(H12建告第1463号に適合するもの) ・ A級	~6. 5/ 3. 高カボルト	※図示による( ) ※UISによる・   ※図示による( ) ※JISによる・   高カボルトの種類 (7.2.2)	16. 錆止め塗装	溶接の区分     A00L (%)     検査水準     備考       工場溶接     ・2.5     ※4.0     ※6       塗料の範囲     (7,8,2)(7,8,4)(18,3,2)
	<ul><li>ボスカム、ボスピョアはははいによる・ ・行わない</li><li>材料その他 (4.5.4)</li><li>帯筋・図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ・図示による</li></ul>		(機械式継手の種類( 鉄筋相互のあき ※図示による 施工完了後の試験	3. ann 1.	Manual	10. 納止の至表	### (7.6.2/ (7.6.4) (16.6.2/ )
	セメントの種類 ※高炉セメントB種 コンクリートの種別 ・A種 B種 ・評定等の評価内容による	⑦ 各部配筋	※図示による・		・図示による       ・         すべり試験の実施       (7.4.2)         ・行う(試験方法等       ・図示による)       ※行わない		塗料の種別 ・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの 内側の錆止め塗料の種別
	スランプ ・18cm ・21cm コンクリートの設計基準強度 ( )N/mm2 構造体強度補正値(S)	<ul><li>割 柱の帯筋</li><li>割 耐震壁を除く</li></ul>	※ H形     ・ W-I形     ・SP形     (参考図       ・ A形     ※ B形     (参考図表4.3		ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3による 座金 ・標準仕様書7.2.3(4)による		※A種 耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
⑤ 砂利地業	・3N/mm2 ・評定等の評価内容による 材料 (4.6.2~3) 砂利 ※ 再生クラッシャラン ・ 節囲	壁の開口部補強 (① はり貫通孔の 補強	補強形式 ※H3形以上・M型・MH型 (参考図 表7.1	~7.3)	ボルトの径 ・図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による	17. 耐火被覆	種別         材料・工法         性能(耐火時間)         適用箇所(部位・部分)           ・乾式吹付けロックウール         ※半乾式吹付けロックウール           ・記式ロックウール         ・湿式ロックウール
	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下 ・図示による 厚さ ※60mm	① 圧接完了後の 圧接部の試験	<ul><li>外観試験 (5</li><li>※ 行う(全数)</li><li>抜取試験</li><li>※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験</li></ul>	. 4. 10) 5. 溶融亜鉛めっき 高カボルト	溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.3) ・図示による ・ ボルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による・		吹付け・・虚式ロラグラール・・・       ・耐火板張り・       ・翻火板張り・
⑥ 捨コンク リート地業	範囲 ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下 ・図示による 厚さ	① コンクリート の種類	種別 ※ I類 ・ I類 (6.2.1)(表	6. 2. 1)	摩擦面の処理方法 (7.4.2) ・ブラスト処理(表面粗度50 μ mRz 以上) ・		<ul> <li>・耐火材</li> <li>・高断熱ロックウール</li> <li>・ラス張りモルタル塗り</li> </ul>
	※50mm 設計基準強度 ※18N/mm2 スランプ	6 ② 設計基準強度 コンク	Fc (N/mm2) 適 用 箇 所 ・ 2 4	6. 2. 2) 6. アンカーボルト	すべり試験の実施 ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない 構造用アンカーボルト (7.2.4)	18. アンカーボル の設置等	・耐火塗料     ・       株造用アンカーボルトの形状及び寸法     (7. 2. 4) (7. 10. 3) (表7. 10. 1)       ・図示による     ・
⑦ 床下防湿層	※15cm又は18cm ・	リートエ事	・ 2 1 構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.3.2による 軽量コンクリート		種類 ・ABR400 ・ABR490 建方用アンカーボルト 種類 ・SS400		構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
8. 地盤改良工法	・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) ・ 種類及び施工方法等		Fc (N/mm2) 適 用 箇 所 構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.3.2による		アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標準仕様書 表7.2.3による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による (7.3.2)		種別 ・A種 ・B種 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 厚さ ・ 種別 ・A種 ・B種
9. 置換コンク リート地業	・図示による 形状等 ・図示による	3 スランプ	基礎, 基礎梁, 土間スラブ ※ 15cm · 18cm (6.2.4)(表 柱, 梁, スラブ, 壁 ※ 18cm		溶接材料 (7.2.5) - 標準仕様書7.2.5(1)(2)による	19. 軽量形鋼構造	ボルトの接合部 (7.11.2) ・普通ボルト接合 ・
(ラップルコン: リート地業)	・図示による・・	(4) セメントの 種類	セメントの種類     適用箇所       ※ 普通ポルドラバ をがり、高炉セかトA種、 別がおりA種又はフライアッシュセかトA種     建物躯体(下記以外)       ・高炉セから格種     基礎、地中梁	8. ターンバックル	建築用ターンバックルボルト   ※羽子板ボルト   建築用ターンバックル胴	1. 補強コンク ブロック造 リート	ブロックの種類 (8.4.2~5) (表8.4.2~4) 断面形状及び圧縮 正味厚さ モデュール呼び寸法 強さによる区分 (mm) 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備 考 ※空洞ブロック ・無・有
① 鉄筋	鉄筋の種類等     種類の記号     呼び径(mm) 備 考       ※ SD295	⑤ 骨材	・ 75/7ッシュセメントB種     基礎、地中梁       アルカリシリカ反応性による区分・A・B     (	6.3.1) 9. 床構造用の デッキプレート	※割枠式     材質、形状及び寸法     (7.2.7) (7.7.8)       適用箇所 材質・形状・寸法 備 考	アリースのクロースのクロースのクロースのクロースのクロースのクロースのクロースのクロ	C(16)       ・       各部の背筋     ※図示による       目地仕上げ     ・ 化粧目地仕上げ
鉄 筋 工 事	* SD345	6. 軽量 コンクリート	種類 (6.10.1)(表6 ・1種 ・2種 適用箇所 (6	. 10. 1)	・ デッキブレートと コンクリートと 成スラブとする構法	ブイン コト リヤ板 Tエ : 事2. コンクリート	まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 溶接金網	鉄線の形状等	コンクリート	・標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所 ・図示による 設計基準強度		開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・図示による	スプロック帳壁 ブロック帳壁 及び塀	断面形状及び圧縮       正味厚さ       モデュール呼び寸法         強さによる区分       (mm)       長さ       高さ         ※空洞ブロック C(16)       ・無・有
③ 鉄筋の継手	・鉄筋格子     (5.3.4)       鉄筋の継手の方法等     種類 種類の記号     継手の方法 呼び径 (mm)	8. 打継ぎの位置、	※18N/mm2 スランプ ※15cm又は18cm ・ 打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)(	9. 7. 3)	鉄骨部材への溶接方法 ・図示による 耐火認定 ・あり 耐火時間 ・図示による ・なし		・
	柱、梁の主筋     ※ガス圧接・機械式継手 ・溶接継手・重ね継手     ※D19以上 ・溶接継手・       耐力壁の鉄筋     ※重ね継手・     ※D16以下       その他の鉄筋()     ・重ね継手・		※標準仕様書6.6.4(1)による ・図示による 目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(ア)による ・図示による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法	10. スタッド	種類等 (7.2.8) 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16	3. ALCパネル	※図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ※図示による 継手位置 ※図示による	9. 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	・図示による  ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ( ・20mm ・ ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)	6.8.1) 11. 柱底均しモルタル	・19     ・22       無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕検書7.2.9(2)(ア)から(エ)による・・     (7.2.9)		- 外壁用 ・一般 ・平 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
④ 鉄筋の定着	耐力壁の重ね継手の長さ ※図示による 鉄筋の定着長さ (5.3.4)	① 型枠	・10mm ・20mm ・ せき板の材料及び厚さ ( ・合板(※12mm ・ )	6.8.2) 12. 仮組	仮組を行う範囲 ※図示による・・ (7.3.10)		空用 ・コーナー・忌広
厚さ及び間隔	※図示による ・ 最小かぶり厚さ (5.3.5) ※図示による ・		<ul> <li>・断熱材を兼用した型枠材</li> <li>使用箇所 ※図示による</li> <li>・MCR工法用シート</li> <li>適用箇所 ※図示による</li> <li>* **</li> </ul>	13. 溶接技能者の 技量付加試験14. 溶接接合	図示による 開先の形状 ※図示による (7.6.4)(7.6.7)		パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・ パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
「浴接金網含む	軽量コンクリートを適用する場合 ・有り(※図示による) 適用箇所( 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・有り(※図示による) 適用箇所(		打増し厚さ ・20mm ・ 打増し範囲 ※図示による スリーブの材種・規格等 ・図示による		鋼製エンドタブを切断する部分 切断する箇所 図示による 切断範囲 スカラップの形状 ※図示による		・図示による 目地幅 ※20mm 外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない
			宮城県仙台市青葉区 電話 022-211 FAX 022-211	-326 ( 班)		•	全 葉 図面 No
			宮城県土木部営繕課		図面名称	詩記 仕様書	Scale (2)

47.15	2. 改質アスファルト		5.ケイ酸質系		3. 外壁湿式工法	
8 セメント板	2. 改		5. ケ塗布 布防水保証 1. 石材等	振工箇所   様工箇所   様別   施工箇所   使別   施工箇所   で - SUP	3. 外壁湿式工法 人	材質 ※SISJ304 形状及び寸法 ・L-75 × 75 × 6 (mm) の加工 長さ100mm又は150mm ・フ・カーの材質及び寸法 ※SISJ400 ・寸法 あと施工アンカーの材質、寸法等 構類 ・ドレンパイプ ・設ける(設置位置:図示による) ・設ける(設置位置:図示による) ・設ける(設置位置:図示による) ・ 設ける(設置位置:図示による) ・ 過用しない ・ 過用しる。 ・ 過用しない ・ 過用しる。 ・ 過用しない ・ 過用します。 ・ 過用しない ・ 一般目地・ 日地電・ ) ・ の表に施工アンカー 工法 ・ もと施工アンカー 人構筋流し工法 ・ もと施工アンカー 人機筋 (目地幅 ※ 7 を
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・( )個    屋内防水   防水層の種別   種別   施工箇所   セーラ   ・ E-1   ・ E-2     ・ Bt   ・ Bt   ・ C   ・	4. 塗膜防水	・行う(・図示による・・)・行わない (9.5.3) (表9.5.1、2) 防水層の種別 (2.5.3) (表9.5.1、2) 防水層の種別 (4.5.3) (表9.5.1、2) (表9.5.1、2) (表9.5.3) (表9.5.1 (表9.5.3) (表9.5.3) (表9.5.1 (表9.5.3) (.5.3) (表9.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.5.3) (.		取付け用モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・・ 既調合の目地モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・・	5. 外壁乾式工法	乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ※標準仕様書表10.2.4による (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施エアンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・ どぼ用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(2)(7)による
	1	宮城県仙台市青葉区本町3丁目 電話 022-211-326 ( FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課	8番1号 設計年月 班)	図面名称	仕様書(3)	全 葉 図面 No Scale

6. 床及び階段の	浸透性吸収防水材 (10.6.2、3)		既調合モルタル	3. 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)		・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
石張り 10	(味石集り)・適用する ・適用しない 石裏面処理		モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。		施工箇所		施工箇所 厚さ 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理
石	(床石張り)・適用する ・適用しない (階段張り)・適用する ・適用しない		既調合目地材		※1等 · 2等		- 1和 - 2和 ・ 適用する
事	製力を必要 (床石張り)・適用する ・適用しない		下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理				- 17x 2xx ・適用しない
	(Hangy) - Manny (a		ドルセルタルをかられてコングリード系地面のドル処理 ※目荒し工法(高圧水洗処理) ・MCR工法		・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材		
	・既調合の目地モルタル (目地幅・)				施工箇所 品名 材種名 「寸法 化粧薄板の 見付け 見付け材 原さ (mm) 厚さ (mm) 材面 面の品質		・パーティクルボード
	・シーリング材     (種類 ※標準仕様書表9.7.1による・・・・)       (目地幅及び深さ・・・・)		壁タイル張りの工法   内外装タイル		化粧薄板: ※1等 芯材: ・2等		施工箇所 表裏面の状態に 曲げ強さに 耐水性に 難燃性に 厚さ よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 (mm)
	伸縮調整目地   位置		・密着張り ※改良圧着張り				※13タイプ ※P又はM ※15
	※標準仕様書10.6.2(5)(a)による ・図示による		内装タイル以外のユニットタイル ※マスク張り				
	シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による		・モザイクタイル張り		・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材		
	•		(44.0.0.5)		施工箇所 材種名 寸法 見付け材面の品質 含水率		・JAS 0360 に基づく構造用パネル
	目地寸法   ※幅・深さとも10mm以上	によるタイル	タイルの形状、寸法等		※15%以下		施工箇所 寸法 (mm)
	・図示による	張り	施工 種類 形状/六法 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐速害性耐滑 箇所 種類 (mm) I 類 I 類 I 類 I 類 B ゆう無ゆう 有 無 標準 特注 有 無 り性		※15%以下		
7. 笠木、甲板等の石張り	取付け工法 (10.2.2) (10.7.2)   ・湿式工法						
	· 乾式工法 特殊部位用金物				・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材		• MDF
	材質 ※SUS304 ・				施工箇所 材種名 寸法 化粧薄板の 見付け材 含水率 原さ (mm) 厚さ (mm) あの品質 含水率		施工箇所 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さに 接着剤に 難燃性に による区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分
	寸法等				化粧薄板: ※15%以下 芯材:		
	引金物 ※標準仕様書表10.2.3による				化粧薄板: ※15%以下		
	だぼ		標準的な曲がりの役物は一体成形とする。		י ו מיטק .	6.接合具等	  造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)
	※標準仕様書表10.2.3による		内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	4. 造作用単板 積層材	- JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)		※隠し釘打ち ・釘頭埋め木
	かすがい ※標準仕様書表10.2.3による		Time	30011	施工箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理		- つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し
	•		がポリウレタン系シーリング材		・適用する         ・適用しない		諸金物
	受金物 ※標準仕様書10.2.2(1)(イ)による		ひび割れ誘発目地		- 適用する - 適用しない		※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書表12.2.3~5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度)
	・ 乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等		※ポリウレタン系シーリング材				· (形状: 寸法: 材質: )
	ファスナー   ※標準仕様書表10.2.4に準ずる		伸縮調整目地及びその他の目地   ※変成シリコーン系シーリング材		- JAS 0701 以外の造作用単板積層材	7. 接着剤	接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (12.2.2、3)
	(方式:・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による		・   下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理		施工箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理		፠F☆☆☆☆ ·
	あと施工アンカーの材質、寸法 種類 ・		※目荒し工法(高圧水洗処理) ・MCR工法			8. 防腐・防蟻	・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1、2)
	TANG		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			処理	適用部位:(
	石裏面処理		・行う・行わない		140 2070 1-サズ / 本本体 中に		・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
	・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代				- JAS 3079 に基づく直交集成板 		適用部材 保存処理性能区分 · K2 · K3 · K4
	※70mm程度   石材の裏面の補強用モルタル	1. 施工一般	   材料のホルムアルデヒド放散量 (12.2.1)		施工箇所 品名 強度等級 種別 (使用環境) 樹種名 (mm)		- K2 · K3 · K4 - K2 · K3 · K4
	・適用する       ・適用しない         一般目地	12	※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(ウ)(b)による				INZ NO NY
	・目地モルタル (目地幅・ ) ・既調合の目地モルタル (目地幅・ )		(12. 2. 1) (12. 4. 1) (12. 5. 1) (12. 6. 1) (12. 7. 1)	5. 合板等	・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)		・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
	・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ) (目地幅及び深さ )	事	- JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材		施工箇所 厚さ 単板の 接着の 板面の品質 防虫処理		適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※薬剤の製造所の仕様による ※ メリS K 1571に適合又は同等品
	伸縮調整目地   位置		施工箇所 寸法 等級 含水率 保存処理		一   一   一   一   一   一   一   一   一   一		·
	※標準仕様書10.6.2(5)(a)による		※2級 · ※A種 · B種 ·				
	・図示による シーリング材の種類		※2級 · ※A種 · B種 ·		・     ・2類     針葉樹     ・適用しない       ※C-D以上		・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理 適用部位 ( )
	※標準仕様書表9.7.1による						・合板等の加圧注入処理の適用 適用部位( )
	目地寸法 ・図示による		・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材				
		1	施工箇所 寸法 等級 含水率 保存処理		・「合板の日本農林規格」による構造用合板	9. 内部間仕切軸 組及び床組み	
1. 伸縮調整目地			見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 ・		施工箇所 等級 単板の 接着の 板面の 厚さ 防虫 強度 樹種名 程度 品質 (mm) 処理 等級	心及び外祖の	・床組みに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
及びひび割れ 11 誘発目地	<ul><li>・図示による</li></ul>		見え掛り面 ※小節以上 ※A種 ・B種 ・		- 適用		※杉又は松・
9	目地寸法  ・図示による					10. 窓、出入口	・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.5.1)
イ      ル    2 . 見本焼き	見本焼き (11.1.4)		- JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材		・適用しないしない	その他	※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
事」試験施工	・行う(施工箇所: ) ※行わない 試験張り		施工箇所 寸法 等級 含水率 保存処理			11. 床板張り	(12. 6. 1)
	・行う(範囲、仕様等は図示による) ※行わない		※1等 ※10%以下 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板		・緑甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※ひのき・・
3. セメントモル タルによる	タイルの形状、寸法等 (11.2.2、6)						
タイル張り	施工 種類 形状/寸法 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性耐滑		- IAC 1002 (和H+) 以内の和H+		ルエ回が (mm) 平板の両程も 1支柱の程度 防五足柱	12. 壁及び天井	(12.7.1) ・ 時間線 取得承接 取得及び見せに用いるませの継種を(制せた用いる場合)
	箇所		・JAS 1083 (製材) 以外の製材       ************************************		・1類 ・特類 ・適用しない	下地	・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松
			加工国が (mm) 村国の前員   防虫処理   宮水平				
			・適用する ※A種 ・B種 ・ i 適用しない		・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板		
			(然程·D性)		施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 (mm) 接着の程度 防虫処理		
			造作材の場合 (※A種 ・B種) ・適用しない		<ul> <li>・1類 ・2類</li> <li>・適用する</li> <li>・適用しない</li> </ul>		
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする。						
	1	1 1	宮城県仙台市青葉区本町3丁	目8番1号 設計年月	月日 調査者氏名 設計者氏名 工事名称	I	全葉 図面 No
			電話 022-211-326 ( FAX 022-211-3190	班)	図面名称		Scale
			宮城県土木部営繕課			記仕様書(	
4			<u> </u>				

1. 長尺金属板葺 (13.2.2、3)	4. とい といその他の材種	(13. 5. 2、3) (表13. 5. 4)	4. 軽量鉄骨壁	(14. 5. 3、4) (表14. 5. 1)		
13   施工箇所 板及びコイルの種類   塗膜の耐久性の種類   厚さ	・配管用鋼管 ・配管用鋼管 ・硬質ボリ塩化ビニル管 ・ルーフドレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面		下地	スタッド、ランナの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類・図示による ・ 図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合	種類 (呼び名)         仕上げの形状         工法         吸放湿性         防火材料           ・吹放 し         ・吹付け         ・吹付け         ・適用する         ・適用する	
次	形状	(溶融亜鉛めっきを行ったもの)		※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4.(5)による	・ひき起こし ・かき落とし ・吹放し ・吹放し ・凸部処理 ・吹付け ・ 二の部処理 ・ ででは ・ でたん状 ・ こて塗り ・ 適用する ・	
下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ) 横葺きの場合のけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め 雪止め ・設置する (形状及び施工箇所 ・図示による ・ )	※市販品 (とい径 100 以下) ・25×4.5(mm)以上 (とい径 ・ 取付け間隔 ※標準仕様書表13.5.2による ・ 足金物 材種 ※標準仕様 表 13.5.2による	100 を超えるもの)	5. 金属成形板張り	(14.6.2、3) (表14.2.1)   種別 製法 形状 板幅 板厚 表面処理   種別 色合い等   ・アルミ・ロール パネル形   パネル形   パネル形   ・プレス パネル形   ・プレス パネル形   ・プレス パネル形   ・プレス ・プレス ・プレス ・プレス ・プレス ・プレス ・プレス ・プレス	・ひき起こし 塗り ・砂壁状・吹付け ・吹付け ・ 中本 い ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	
・設置しない ・設置しない 2. 折板葺 (13.2.2) (13.3.2) (表13.2.1)	形状 ※市販品 取付け間隔 ※標準仕様書表13.5.2による			取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示による 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示による ・ )	- CT塗り - 砂壁状 - 吹付け - 可とう形 - 平たん状 - こて塗り - 外装塗材E - 四凸状 - こて塗り - ゆず肌状 - ローラー - さざ波状 - 塗り	
施工箇所 形式 山高、山ピッチ 耐力に 材料に 厚さ 軒先 耐火 による区分 山高 山ピッチ よる区分 よる区分 (mm) 面戸板 性能 ・重ね形・はぜ締め形・かな合形 ( )種・アルミーウム 合金板製 ・無し	多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 鋼管製といの防露巻き ※標準仕様書表13.5.4による		6. アルミニウム 製笠木	・設けない 種類 (14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1) ・250形 ・300形 ・350形 表面処理	- できなん	
材料 折板の材質の種類(※JIS G 3302の屋根用(着色 ・有) ・ ) 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量(・5類 (AZ150) ・ ) 断熱材張り	・ カーフドレンの種類及び呼び 種別 ※ あく屋根用たて形 I 型 ※ ねじ ・ ろく屋根用横形 I 型 ※ ねじ	呼び 施工箇所 込み式 ・80 ・100 ・125 ・150 込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		種別 (	- 内装薄塗材L ・ 中 が が ・ ローラー ・ 連用 9 も ・ ・ 中 が が ・ ローラー ・ さざ 波状 ・ 塗り ・ 砂壁 状じゅらく ・ ゆず 肌状 ・ で付け ・ 内装薄塗材 Si ・ 平 たん状 ・ こ て 涂り ・ 適田 する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
<ul> <li>・行う (断熱材の種別: 厚さ(mm): 防火性能: )</li> <li>・行わない</li> <li>耐雪性能に対応した工法の適用</li> <li>・適用する ・適用しない</li> <li>折板のけらば納め</li> <li>※けらば包みによる方法</li> <li>雪止め</li> </ul>	・	125	1. モルタル塗り	モルタル (15.3.2、5) ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示による ・ )	<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""></td>	
・設置する (形状及び施工箇所 ・図示による ・ ) ・設置しない	1. アルミニウム 及びアルミニ ウム合金の 表面処理 種類 色合い等 ・AB-1種	(14. 2. 1) (表 14. 2. 1) 施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)		ル上画所 ( ) が ( ) が ( ) が ( ) が ( ) とけない 床の目地 設ける 目地割り ※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度)	・厚付け仕上塗材  種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り 防火材料 ・吹放し ・凸部処理 ・吹付け	
3. 粘土瓦葺	- AB-2種 - 標準色 - 特注色 - AC-1種 - AC-2種 - 標準色 - 特注色 - BA-1種 - BA-2種 - 標準色			目地の種類 ※押し目地 ・ ・ 設けない 屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル 塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験	・外装厚塗材C <td blue;="" blue;"="" blue<="" color:="" rowspan="2" style="block" td=""></td>	
- 適用する - 適用しない   	・BB-1種 ・BB-2種 ・特注色 ・BC-1種 ・BC-2種 ・標準色		2. ラス系下地	・適用する ・適用しない  ラス系下地 ・二層下地通気構法 ・単層下地通気構法	・四凸状 ・ローラー ・ ひき起こし 塗り ・ 吹放し ・ 吹放し ・ 吹付け ・ 内装厚塗材C ・ 円 ・ でん状 ・ 凹凸状 ・ 一 で ※ ローラー ・ 適用する・ 適用する・ ・ で で が ・ で で が ・ で で が ・ で で が で で で で	
瓦桟木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上	· 特注色 · C種			換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(f) ・ ) ・ 直張りラスモルタル下地 ・ 直張りラスシートモルタル下地 ラスの材料 種類及び記号 ( ) 単位面積当たりの質量 ( )	・ひき起こし ・かき落とし ・平たん状 ・内装厚塗材L ・ひき起こし ・かき落とし ・平たん状	
棟補強用心材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm)	2. 鉄鋼の亜鉛 めっき     表面処理方法     種別 ・ 溶融亜鉛めっき       ・ 溶融亜鉛めっき     ・ D種 ・ D種 ・ D種	(14.2.2) (表 14.2.2) 施工箇所 (手すり、タラップ以外)		ラスシートの材料 ラス目による区分(※M 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (・LS4(建築基準法に基づく耐力壁) ステープルの形状及び寸法( 直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工	・内装厚塗材G ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし ・吹放し ・内装厚塗材Si ・ で付け	
瓦緊結用釘及びねじ 種類( ) 径( ) 長さ( ) 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法	・電気亜鉛めっき     ・D種 <ul> <li>・ 1種</li> </ul> ・電気亜鉛めっき         ・ F種           ・ F種         F	(14. 4. 2~4) (表14. 4. 1)	3. せっこう ボード その他の ボード下地	せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ (15.2.5) 種類 (・GB-R ・GB-L ・ ) 厚さ ( mm) 木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 (・ ) 厚さ ( mm)	・ 内装序室材	
※図示による 工法 風圧カ又は地震カに対応した瓦の緊結方法等 ※図示による 、 での習行け工法 、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサ 周辺部の端からの間隔	ートの間隔 ・図示による ・ ・図示による ・ ・図示による ・		建築基準法に基づく耐力壁の指定 (・あり ・なし) (15.2.6) 木ずり用小幅板の種類 (※すぎ(心去り材) ・ ) (15.2.7)	- 複層塗材CE - 複層塗材CE - 複層塗材RE - 1型凸状 - 吹付け - 1種 - 小型の型 - 吹付け - 1種 - 小型の型 - 吹付け - 1種 - 計種 - 計種形 - 計種形 - 計種形 - 計種形 - 計種 - 計種	
棟の工法 ・ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟 ・ のし積み棟 ・ のし積み棟 ・ 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ・ モルタル ・ 瓦葺き用しっくい	野縁の間隔 ・つりボルトの間隔が900mmを超え (補強方法 ※図示による ・天井のふところが3.0mを超える (補強方法 ※図示による ・天井下松村における計震性を考 (補強箇所 ※図示による	場合 ) 慮した補強 )	6. 仕上塗材 仕上げ	内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材	- 可とう形複層 ** 空内け ** 空内け ** 空内	
	(補強方法 ※図示による・・屋外の軒、ピロティ等の天井に (補強箇所 ※図示による・・(補強方法 ※図示による・・	おける耐風圧性を考慮した補強))	20214	ロ 翻水本ボタ Shéiまげひ マッキ 2.7L	- 防水型複層 ** 凹口状 ** 外観 ** 耐候形 ** 2種 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	
		宮城県仙台市青葉区本町3丁目 電話 022-211-326 ( FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課	18番 1号 班)	図面名称	全葉 図面 No Scale 記 仕 様 書 (5)	

- 軽量骨材仕上塗材 - 極類 (呼び名) 防火材料 - 吹付用軽量塗材 ・	4. アルミニウム 性能値等 (16.2.2、4、5) (表14.2.1) (表16.2.1、2) 耐風圧性の等級 (・ ) (建具符号・建具表による , ) (変理具符号・建具表による , ) 水密性の等級 (・ ) (建具符号・建具表による , ) 外部に面する建具の種別・A種 (建具符号・建具表による , ) 日種 (建具符号・建具表による , ) 日種 (建具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・建具表による , ) 日本 (全具符号・2) 日本 (全具符号・2) 日本 (全具行名)	材料	表面板の厚さ ※表16.7.6による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種( ) 競板樹種( ) 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別(・I型 ・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ※新鳥の子又はピニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁((ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・せっこうボード ・せっこうラスボード ・モルタル塗り ・木ずり ・こまい ・下塗りをせっこうブラスターとし上塗りに使用する場合 ・ 世っこうボード下地 ※標準仕様書表15.10.1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	※RL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ※BB-1 ・BB-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ※標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ※BC-1 ・BC-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ※標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・ 水貯め式 ・ 排水式 工法	鋼板	・建具表による
・砂壁用ののり ※ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 ・ ・土物仕上げに用いる色土の種類( ) ・大津仕上げに用いる色土の種類( ) ・受の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 下塗りの調合 ※標準仕様書表15.11.2 ・ 塗厚 ※標準仕様書表15.11.8による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合( ) ・こまい壁の工程 ※A種 ・B種  こまい壁がりの上塗りとする土物仕上げの工法の種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法	5. 網戸等 (16.2.3)	12   12   13   14   15   16   16   17   17   18   19   19   19   19   19   19   19	2. 鍵 マスターキー ・製作する・製作しない 鍵の製作本数 ※各室3本1組(室名札付き) 鍵箱 ※有り ・無し  戸の開閉方式 ・建具表による・ ・引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.1 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 耐入性(サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.2 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 耐入性(サイクル) ( ) 市が発展では、 ) ・連椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.2 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 耐入性(サイクル) ( ) ・以下による 耐電圧 ( ) コとアート・製作しない ・以下による 耐電圧 ( ) コとアート・製作しない ・以下による ・調度上昇 ( ) ・以下による ・引き声用検出装置
・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・砂壁仕上げ工法 ・対返し仕上げ工法 ・吉通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 ・りじゃくり ・図示による  1. 防火戸  2. 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う(建具符号: ) (16.1.4) ※建具見本製作の目的等 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号: ) ※行わない ・ 次行わない ・ 次行わない ・ 適用する(・建具表による・ ) ※信制ない ・ 適用する(・建具表による・ ) (16.1.6)	・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※III ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による ・ 本下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する	- 角出し曲げ (b角 (切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り)) ・角出し曲げ (c角 (切込み後の残り板厚1.0mm))  建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2~4) ※A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ド☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書16.7.2(2)(4)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 板面の品質 (※広葉樹1等 ・ ) 接着の程度 (・1類 ・2類 ) ・天然木 化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類 ) ・特殊加工 化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度 (・1類 ・2類 )	性能値
	宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 ( 班) FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課	図面名称	全葉 図面 No Scale 仕様書(6)

### 17-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-	### 2000   1/2	がっきの付着量(※AZ90 ・ スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 17. オーバー ヘッドドア セクション材料 による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウム ・750 ・チェー・アチェー・アチェー・アチェー・アチェー・アチェー・アチェー・アチェー・	急降下停止装置 ) r ッターの危害防止装置 ) n 及び鋼帯) を鋼板鋼帯)  S座板及び座板のカパー、雨掛りに  U (16.12.2~4)  I (16.12.2~4)  I (16.13.2、3)  I (16.13.2 (17.1)  I (1	※建具表による ・	による種類	2. メタルカーテン ウォール 3. PCカーテン ウォール	<ul><li>※4辺支持</li><li>材料</li><li>コンクリート</li><li>種類(・普通コンクリー 品質</li><li>設計基準強度(Fc)</li></ul>	- 1) - よる - よる - よる - よる - (標準仕様書表14.2.1) 特注色 付の場合) - 以造所の仕様 での寸法許容差 - なまでの距離 - リングの場合のガラスの支持方法 - ト ・軽量コンクリート1種 ※30N/mm2	1. 材料 18 塗装工事 2. 素地ごしらえ 3. 錆より	下地面等       木部     不透明塗料塗りの場       鉄鋼面 (DP以外 )     透明塗料塗りの場       鉄鋼面 (DPのみ)     亜鉛めっき鋼面       モルタル面及びせっこうブラスター面     コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面       押出成形セメント板面     コンクリート面 (DPのみ)       せっこうボード面及び     目地:継目処理エ       その他ボード面     1世:継目処理エ       下地面     塗料の種別       毎止め塗料       鉄鋼面     DP       EP-G     ※8種・ル	复層ガラス等を使用する 型理の強化を行う  (18.1.3  (18.2.2~ 種別 場合 ※A種 - B種 ※B種 - A種 - B種 ※B種 - A種 ※B種 - B種 ※B種 - A種 ※B種 - B種 ※B種 - A種 ※B種 - B種 表B、3.4  「見え掛り:A種 見え関れ:B種 表別、B種 表別、1 B種 表別、1 B種
Six   Mark   Mark	4m以下	※スチールタイプ	ス式 ※スタンダード形 ※溶融亜鉛 かっき細板 ・ハイリフト形・・パーチカル形 ・ステンレス - 調板	単用金属枠及び補強材   ※図示による	・グレー) ・PS-1) (17.3.2~6)(表17.3.1、2) 対けけ間隔 様による (17.1.3) E 断熱性 耐火性 耐温度差性(°C) ・30分 ・80 ・1時間 ・70 ・60 を除く) 耐風圧性能 が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること 認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける	日 番 番 1 号	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	※30N/mm2 ※12cm ・の場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・の場合 1.8t/m3~2.1t/m3  4.0 ・5.0 ・6.0  b等) による コポによる ・よる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4. 塗装	EP-G   ※B種 ・ //   SOP   ※A種 ・ E   SOP   ※A種 ・ E   SOP	種 見え掛り:A種 見え場は:B種 見え場は:B種 見え場と B種

Rich (1977) で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1. 接着剤	(19.2.2)		下敷き材(グリッパー工法の場合)		種類等	厚さ(mm)、規格等		モルタル及びブラスター面の素地ごしらえの種別
### STATE OF CONTROL O				※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号   呼び厚さ 8mm   ・			FC VIIII T		
### APP 18							□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
## A PART						・健負(MW)・甲頁(MW)・音通(NW)			
The content of the	下地の工法					・硬質(HF) ・普通(NF)		14. 断熱材	(19.
Company   Comp		・図示による・・		※μ_ プパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5					フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放 ※F☆☆☆☆
Ministry	ビニル床シート	(19. 2. 2、3)		・			図示による ・6 ・8		開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
Part		×=+h ×2.0		· カットハイル   · 第二種   ·		-			
## CLASSES   CLA						・ルルサガニス祭権展長	7=1 7		
### 1985   1985		·				種類 ※凶亦による	型示による ·		
Company   Comp		接合部の処理							
The control of the				タイルカーペットの敷き方		・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) ※図			
### 1997	ビニル床タイル	(19 2 2)					14		
開発的性 (				・模様流し		· 素地ハードボード			
「中央の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		※KT (コンポ゚ジションビニル床タイル)  ・無地   ※300×300   ※2.0		階段部分		- AII麻垢 (PC)			
March   1		・FT (複層ピニル床タイル) ・500×500 ・3.0		※模様流し		・内装用化粧ハードボード (DI) *** <sup>※区</sup>			断熱材の種類
### 1							, -		
### 1		TO WEED ACCUMENTS				・未研磨板 (RN)			・   施工筒所
### 1995	特殊機能床材			種類 ( )					
						・インシュレーションホ゛ート゛	7=1- 5 7 . 0 . 10 . 15		
本語の表示の			0 全体排化条件			・天井仕上げ材		1 711-75-7	
### 1			3. 点队倒脂変体			- 内装仕上げ材			= 1
### 1410-001-001-001-001-001-001-001-001-001				※平滑仕上げ				20	
「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		寸法(mm) ( × )		弾性山か,樹脂玄涂庄    ・防滑仕上げ				그	
### 1987 (1997) 1997 (1997)		厚さ(mm) ( )		・薄膜流しのベエ法		- 研磨板 (VS)	• 18 •	_ "	
1985年19月1日   1				サー サンは排形を涂止   「厚膜流しのへ上法   吐温井 トば				及	
無限 ( )				・薄膜型塗床材 ※平滑仕上げ			• 12 (難燃)	ぴ   そ	寸法精度
# 1		種類 ( )				-		の   他	※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)~(c)による
10.5 1						- ロックウーリ (と ** ** ** ( DD )		<u>あ</u> T	
# 20 1			  10. フローリング	(10.5.2~5) (表10.5.1~6)		• 75y h917°		事	( ) パネルの平面形状 (角度) の寸法籍度
***  ***  ***  ***  ***  ***  ***  *				フローリングのホルムアルデヒドの放散量等		· 凹凸917			( )
情報		・防滑性床シート		※標準仕様書19.5.2(2)による					フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ( )
# 日本作名 タル		種類 ( )							
# 1									
# 1						・強化せっこうボード (GB-F) ・12	2.5 (不燃) ·15 (不燃)	2 可動即4477	
***		寸法(mm) ( × )		・釘留め工法 (・根太張り ・直張り )		<ul><li>せっこうラスボード (GB-L)</li><li>・9.</li></ul>	. 5	2. 引到间证例	横成基材の種類   遊音性
注入の様。		厚さ(mm) ( )				<ul><li>・化粧無し(下地張り用)</li><li>・9.</li></ul>	.5 (不燃)		7771 17 17 (42) 0001127
### 75 100   ### 100   #	ビニル幅木								・スタッド式(露出) 7/11ル樹脂焼付 ・12
##6		高さ (mm)		・単層フローリング (フローリングブロック1等)					・スタッドパネル式 ・壁紙張り ・20
# 2 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		<b>※60 ⋅ 75 ⋅ 100</b>		樹種		表板の樹種名: ※図	<b>対示による</b>		
選集							コンニーケン		
#展品 ・報告	ゴム庆タイル	種類 (10.2.2)		・		・行う ・行わない			
# 1	ーールノコル	・単層品 ・積層品					□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		・無し
************************************				・複合フローリング		防虫処理・			
- ペリト動き - 様日のうたん (19.3.2、3) (表9.3.1) (表9.3.2 を		· 3. 0 · 4. 5 · 6. 0 · 9. 0		工法		・特殊加工化粧合板			表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章に。
### 20				・接着工法		化粧加工の方法			
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	カーペット敷き						団示による	3. 移動問什切	
#				種別		」 ·		○・・ 小グ ⇒別1日1上 別	 
機能などの対象性のでは関係のでは関係のでは関係のでは関係のでは関係のでは関係のでは関係できます。		・ダブルフェースカーペット・ループパイル		· A種 · B種 · C種					よる性類   巨の抹下ガム (川川)   竹貝   江エリ
<ul> <li>会務</li> <li>※機構のない無地</li> <li>バイル糸の種類等</li> <li>・ 大型機関フロップで</li> <li>・ 大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大</li></ul>		・アキスミンスターカーベット   ・カット/ルーブパイル				T#04	/ ) の手ね張りナケミ畑 ^		移動式 ・電動式 ・ハント・ル式 ・ ・壁紙張り
接触の		色柄		次 古		※図示による・	()の里ね張りを行う場合		・二方向・部分電動式・
Xfu A A の機器等		※模様のない無地		・大刑結属フローリング		合板類の張付け			19 判
・ ・				工法		せっこうボードの目地工法等			
・適用する ・適用しない 機じゅうたんの接合方法 ※レー・ボンド Tisk		※無地の織りじゅうたんの種別(・A種 ・B種 ・C種)							
## LE つ たんの接合方法 ※E LE 小ボンド T 法 ・ つづり経い 下敷き材 ※反毛 フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ グリフテッドカーベット ・ クフテッドカーベット ・ クフテッドカーベット ・ ハイル形状						突付け工法及び目透し工法のエッジの種			変形量となるように補強する
************************************						・ヘヘルエッジ ・スクェアエッジ			
下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・・タフテッドカーベット バイル形状 パイル長さ (mm) 工法 帯電性 ・カットバイル ・5~7 ・ ※全面接着工法 ・適用する ・カット、ルーブ併用 ・ ※「カット、ルーブ併用 ・ ※「カット、アルーブのは、アルーブに「放散量 ※様常也がよった。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			11. 畳敷き		13. 壁紙張り		(19. 8. 2、3)		
************************************									
・タフテッドカーベット  - パイル形状   パール長さ (mm)   工法   帯電性   その他のボード 及び合板張り   上がリッパ・アメランド (19、7、2、3) (表 19、7、1)   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		<ul><li>・つづり縫い</li><li>下敷き材</li></ul>		佐敷硕式n型图 / 图士 01 00)			乗機質その他 防火性能		
*タフテットカーヘット		<ul><li>・つづり縫い</li><li>下敷き材</li></ul>		御祭精利少官(官衣:・(,) ・(,/)			. 100 Set C V7 1121		につうして、m1/3人U·久ル里が、次川工人件のない。Dの
A		・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm					<ul> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>		
・ループパイル       ・4~6 ・		・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・		(19.7.2、3) (表 19.7.1)			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F ☆ ☆ ☆ ☆ ・		・つづり縫い 下敷さ材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・タフテッドカーペット ・・タフテッドカーペット ・・パイル形状 パイル長さ (mm) 工法 帯電性	その他のボード	(19.7.2、3) (表 19.7.1) MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
		- つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・タフテッドカーペット - パイル形状	その他のボード	(19.7.2、3) (表 19.7.1) MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
電話 022-211-326 (		- つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・タフテッドカーペット - パイル形状	その他のボード	(19.7.2、3) (表 19.7.1) MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.7.2(3) (4) の(a) ~ (d) のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
FAX 022-211-3190 図面名称 Scale		- つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・タフテッドカーペット - パイル形状	その他のボード	(19.7.2、3) (表 19.7.1) MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕棟書19.7.2(3) (f) の(a) ~ (d) のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆			・ ・ ・ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準 不燃       ・ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準 不燃       ・ ・ ・ 不燃 ・ 準 不燃		
		- つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・タフテッドカーペット - パイル形状	その他のボード	(19.7.2、3) (表 19.7.1) MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕棟書19.7.2(3) (4) の(a) ~ (d) のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆  宮城県仙台市青葉区本町3丁E	目8番1号 設計年 研)		・ ・ ・ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準 不燃       ・ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準 不燃       ・ ・ ・ 不燃 ・ 準 不燃		全 葉 図面 No

4. トイレブース	(20. 2. 5)	13. ロール	(20. 2. 15)	22. 流し台ユニット		33. 屋外掲示板	照明器具	
20	まずせの共料 脚部 ドアエッジ	スクリーン	場体大法 フクリーンの共孫 その他の共戦 幅・高さ 口懸笠				・有り ・無し 施錠	
	複類   材質				- 1200 - 550 - 800 市販品 ・流し台 - 1500 - 600 - 850 トラップ付き		・有り・無し	
ュニッ	・ポリエステル樹脂系化粧板 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製		・コード式 ・合成・天然繊維製 よる よる ・ 木製		・1800     ・650     天板ステンレス製       ・600     ・550     ・620     市販品		製造所	
	, And Date of the Control of the Con		电划片 小衣		・コンロ台     ・600     ・670     バックガード有り	 34. 収納家具	   合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量	
及び 5. 手すり	材料の種類及び仕上げ (20.2.6) ・SUS304 表面処理 ※HL程度		スクリーンの仕様		→ 1 = 4m → 1200 → 450 → 500 市販品		※F☆☆☆☆ ・ 材質、形状、寸法	
で   他	- 銅製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別() )種)		消防法で定める防炎性能の表示があるもの		- ・59 戸棚 - 900 - 700 - 1200 市販品		※図示による・・	
その他の工事	・アルミニウム 表面処理	14. カーテン	(20. 2. 16)		・水切り   ・900   -   ステンレス製  ・600   ※1段式 ・			
事	(※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )		形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種別、 取付け 品質、特殊加工等 箇所		形状	1. 屋外雨水排	:水 材料 (21. 2. 1、2) (表 21. 2. 1、2)	
	手すりの握り部分		・シングル・片引き ※手引き ・つまみひだ ・図示に		※図示による・・	21	材種 種類・記号 形状 呼び径 備考	
			・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、片ひだ ・電動 ・プレーンひだ よる	23. 旗竿		排	・遠心力鉄筋     コンクリート管       外圧管 (1種)     ・B形管       ・図示による       ・	
	・集成材				※アルミニウム合金製   ※テーパー式   ※ハンドル式 ・埋込式   ・同一断面式   ・ロープ式   ・ベース式   ・ベース式   ・バンドナ	が 大 エ 車	・RS-VU ・図示による	
	- ・ビニル製 · 35程度		生地の仕様		- 「同一断面式」 「・ローノ式 」・バンド式	事	・硬質ポリ塩化 ・VP ・図示による ・ ビニル管 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	· 45程度		消防法で定める防炎性能の表示があるもの 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり	24. 旗竿受金物	材種		・VU ・図示による	
			※300mm以上 ・		※ステンレス製 (SUS 304) ・			
6. 階段滑り止め	o   材種 (20.2.7)   ※ステンレス製	15 カーテンレール	材料による区分 (20.2.16)	25. 車止めさく			基床の厚さ及び種類 ・図示による	
	・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材		・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ※ステンレス製	,	形式     材種     柱径、肉厚(mm)     高さ(mm)       ・上下式鎖内蔵式・標準品     ・ステンレス製     ・		便質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤	
	形状		強さによる区分   ※10-90 ・		・スプリング式・		側塊の形状及び寸法 ・ 図示による	
	※タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂合等)		仕上げ				排水桝の種類	
	・タイヤレス型 寸法(幅)		※アルマイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26. フェンス	フェンスの種類   ・ビニル被覆エキスパンドフェンス		・図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	<ul><li>・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度</li><li>取付け工法</li></ul>		※角形 ·		・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス		・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料	
	※接着工法 ・埋込み工法	16. ブラインド ボックス	材種   ・集成材(仕上げ: )		・アルミフェンス 高さ		・再生クラッシャラン ・切込砂利又は切込砕石	
	・黒板 (20.2.9)	及びカーテン	※アルミニウム製 押出し型材(市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別		・図示による・・		・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度(N/mm2)	
ポワイトボー		""	※BC-1種 ・BC-2種 色合い	27. プレキャスト コンクリート	コンクリートの設計基準強度 (20.3.3、4) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を			
	種類		・標準色( ・特注色( )	3299-1	満足する調合強度		※15又は18・	
	※鋼製黒板 ・ほうろう黒板		・鋼製(仕上げ: )		・図示による 配筋		・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号	
		17. 天井点検口	材種         寸法         形式         外枠         内枠           ※アルミニウム製※450×450・一般形 ・屋内外用・額縁タイプ ・額縁タイプ		※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示による		※SD295	
	※緑 ・  ・ホワイトボード		・ 600×600     ・屋内用 ※目地タイプ ※目地タイプ		取付け方法 ※図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		※標準仕様書21.2.2(6)(t) 材質	
8. 鏡	取付け箇所 (20.2.10)		-   -   - 気密形	   28. 間知石及び	(20.4.2、3)		・ステンレス製 ・鋼製	
J . 35E		18. 床点検口	村種 寸法 形式 備考	コンクリート間知ブロック			・ 合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料	
	厚さ (mm)		※アルミニウム製 ・450×450     ※一般形 ・屋内外用 ・鍵付き       ・ステンレス製 ※600×600     ・密閉形 ・屋内用	積み	・間知石     ・形の石       ・形の石       ・形の石       ・凝灰岩		•	
	<b>*5</b>		<u>·</u> 鋼製		・コンクリート - ・A ・B		(砂を用いる場合の粒度試験)         ・行う       ・行わない	
9. 表示	衝突防止表示 (20.2.11) ・設置する (設置場所:※図示による・・ )		密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。		積み方	2. 鋳鉄製ふた	(21. 2. 1)	
	形状・寸法 ( ※30 ¢ ・ ) 材質 ( ※ステンレス製 ・ )	19. 耐震スリット	方向   幅 (mm) タイプ   耐火性能   防水性能   備考		※谷積み ・布積み 目塗り		名称 種類 適用荷重 鍵 備考	
	・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示		・   ・   ・   ・非耐火型   ・無し		・図示による 伸縮調整目地		・水封形 ・ ボー2用 ・ 有り を記以外の品質 ・ 第5 を開形 (パッキン式) ・ T-6用 ・ 無し 等は (公社) 空	
	※消防法に適合する市販品・ 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、		· 水平 · 25 ·		お種性   ・図示による ・		鋳鉄製マン     ・密閉形 (テーパ・パッキン式)     ・T-20用     気調和衛生工学       ホールふた     ・中ふた付き密閉形	
	田刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)		目地		厚さ ・図示による ・		(テーパ・パッキン式) よる。	
	※図示による		目地 内壁 外壁	00 100 40 40 77 44	・区小による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(01.0.1)	
10. タラップ	材質及び仕上げ (20.2.12)		目地材   ・シーリング材(見え掛かり部のみ)   ・シーリング材(見え掛かり部のみ)	29. 鋼製書架及び 物品棚	種類     規格等     JISICよる種類       ・銅製書架     JIS S 1020 のおねたします。 ・1種 ・2種 ・3種	3. グレーチン	グ     (21.2.1)       材質     形式     用途     適用荷重     メインパーヒ*ッチ	
	・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり ・なし ) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき		目地寸法 (mm) : スリット幅×深さ10 : スリット幅×深さ10 : スリット幅×		・鋼製書架 ・鋼製物品棚     JIS S 1039 の規格による     ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種		・溝ふた・歩行用・細目	
	(※標準仕様書表14.2.2による種別(※C種 ・ 種))			30. 屋内掲示板	枠の材質		・受俗付き、・溝ふた ・T-2用 ・普通目	
11. 煙突ライニン	グ 適用安全使用温度 (20.2.13)	20. 止水板	形式		※アルミニウム製・		・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	
	工法 ※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材 )		・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所		表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り		・U字溝用     ・T-20用       ・溝ふた     ・歩行用	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		•		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""></td>	
12. ブラインド	(20. 2. 14)		材種 受け枠 備考	31. 洗面カウンター			・	
	形式 操作方法 操作方法の種類 スラットの種類 スラット幅 がックス・レール 幅・高さ取付箇所		※塩化ビニル又はゴム製   ※ステンレス鋼 (SUS304)   ・硬質アルミニウム合金製   ・硬質アルミニウム合金		・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石		U字溝用   · T-20用	
	・横形 ※ギヤ式 ※7ルミニウム ※25 ※鋼製 ・図示に		・ステンレス鋼 (SUS304)製 ・		奥行き (mm) ・約450 ・約600		石 街きょ、縁石、側溝 (21.3.1、2)(表21.3.1)	
	操作棒式 合金製			  32. 防煙垂れ壁	  ・固定式	及び側溝	種類 形状・寸法・経石 ・図示による・・	
	・電動						- L形側溝 · 図示による ·	
	・縦形     ・1本操作コード・式     ・1のスステット     ・100     合金製     よる       ・電動     -     -     ・100     ・100     ・100				※ 網入り磨き板ガラス     ※6.8     ※500     アルミ製枠付き       ・線入り磨き板ガラス     ・		・U形側溝     ・図示による       ・U形側溝ふた     ・図示による	
	縦型ブラインドのスラットの材質				・可動式		<u>・</u> ・図示による ・ 砂地業に用いる材料	
	・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ				種類         材質         高さ(mm)         備考           - 垂直降下井 ※石牌女         ※500         ガイドレール		・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂	
	・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工				・垂直降下式   ※不燃布   ※固定式 (壁埋込型) (・※固定式 (壁埋込型) ・・可動式 (天井収納型)		砂利地業に用いる材料 ※再生クラッシャラン・切込砂利又は切込砕石	
					************************************		砂利地業の厚さ (mm) ※100 · 図示による	
					降下機構   煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)			
		<u> </u>	宮城県仙台市青葉区本町3丁	- 日 ○ 采 1 旦 記計年月			全葉 図面 No	
			電話 022-211-326 (	班)				
			FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課		■ ■ ■ ■ ■ ■ 図 面 名 称	記 仕 様 書	Scale (9)	
					1 1		197	

				<u> </u>			T					<u> </u>	
		・現場打ちの場合のコンクリート材料         設計基準強度 (N/mm2)	4. コンクリート   舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ 舗装の種類 部位	(22.5.2~4、6)(表22.5.1、3) 構成 厚さ(mm)		・舗石舗装	形状・	厚さ まルナ				新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の
21		※ 18 スランプ (cm)		コンクリート舗装 歩行者用通路	・図示による ・図示による ・ ・図示による ※70		種類 ——	寸法 (mm)	序で (mm) 張り方		基層の厚さ (mm) ※70	樹木の枯損処置	枯補償の期間   ※引渡しの日から1年 ・無し
水工		※15又は18 ・現場打ちの場合の鉄筋		材料			・花こう岩 ・	<ul><li>割石</li><li>図示による</li></ul>		・コングリート航友	×70		移植樹木の枯損処置を行う期間   ※引渡しの日から1年 ・無し ・
事		種類の記号 ※SD295		コンクリート ※普通コンクリート、標準仕様	<b>羨書表22.5.1による</b>			•		・アスファルト混合物		   12. 屋上緑化	   植栽基盤及び材料 (23.5.2
		凍上抑制層に用いる材料		・以下による コンクリートの種類 (	)		クッション ※砂	材 ・空練りモルタ	なル				・屋上緑化システム 土壌層の厚さ
		(砂を用いる場合の粒度試験)		設計基準強度 (N/mm2) (	´ )		仕上り面の	平たん性		<b>分</b> て明る50			・図示による・・
		・行う ・行わない   		所定のスランプ(cm) (※ 粗骨材の最大寸法(mm) (			※歩行に	文牌となる段を	差がないものとし、	舗有间の段差は300	TUMとする。		排水層 ・軽量骨材(層の厚さ: )
	5. 埋戻し土	※B種 · (21. 2. 1)		早強ポルトランドセメント ・使用する ※使用しない			・ジオテキ	スタイル					・板状成形品 植込み用土
				注入目地材料 ※低弾性タイプ			単位面積	質量 m <sup>°</sup> 以上 ·					※改良土 ・人工軽量土
	1. 路床	路床の材料 (22. 2. 2、3、5) (表22. 2. 1)		・高弾性タイプ			厚さ(mm)						樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
22		種別         材料         厚さ(mm)           ch 1         ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・図示による		目地   ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5	5.1による		・0.5ヶ引張強さ						※図示による ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
舗		・建設汚泥から再生した処理土		<ul><li>・以下による</li><li>種類</li></ul>			・98N/ 透水係数	5cm(10kgf/5cm	1)以上 •				※図示による 支柱
舗装工事		※再生クラッシャラン   ・図示による   ・/ファッシャラン   ・		Time	度ごと			≺10 <sup>-1</sup> cm/sec以_	Ŀ ·				<ul><li>・設置する</li><li>・設置しない</li></ul>
事		・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)		舗装の平たん性	1.00	8. 砂利敷き	種別			T nt	(22. 9. 2)		形式
		・フィルター層 標準仕様書22.2.3.(3)による ・図示による		※通行の支障となる水たまりを生 ・	主じない程度				図示による ※ii 図示による ※ii	通路 建物周囲その他	. )		<ul><li>・図示による</li><li>・</li></ul>
			5. カラー舗装	・加熱系カラー舗装	(22, 6, 2~4)								かん水装置・設置する
		(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う	0. 75 7 Hillage	構成・厚さ・図示による・・	(22. 6. 2 4,	1 技禁业の7年記	* <b>土</b> 控の北書	ノナン連曲形装	6h (∞U) ≣+EΦ		(23, 1, 3)		・設置しない ・設置しない 種類
		※行わない		加熱系混合物の結合材		1. 恒秋地の唯認。	<ul><li>行う</li></ul>	イオン濃度指数・行わない	tx (pii) ax海火		(23. 1. 3)		・図示による
		・路床安定処理   安定処理の方法		※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の	の添加量 (%)	23		(EC) の試験 ・行わない					·
		・置き換え工法・安定処理工法		添加材		植   2. 植栽基盤の整	樹木の植栽	基盤の整備			(23. 2. 2, 4)	1. 一般事項	試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法。
		路床安定化処理用添加材料 種類		自然石()・常温系カラー舗装		及   0   0   0   0   0   0   0   0   0	・適用す	る ・適用し					測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。) の新築住宅の例に準拠して行う。
		※普通ポルトランドセメント		工法	,	屋上	植栽	工法 有	効土層の厚さ (mm) 12m以上	整備範囲・葉張り部分	土壌改良材・適用する	)	
		・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種		・ニート工法(配合その他:・塗布工法 (配合その他:	)	化		・B種 (※	100 · 120 · 150 7m以上~12m未満		・適用しない	2. 測定対象化学物質	測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から④の1・質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。
		・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号)		着色部の下部 ・アスファルト舗装		事	・樹木	・D種 (※	80 • 100)	· =	第	:	   1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までのぎ
		添加量 kg/m3 (CBR · 3以上 · )		・コンクリート舗装・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				(*	3m以上~7m未満 60 · 80)		1   1   1   1   1   1   1   1   1   1		に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC
		・ジオテキスタイル		舗装の平たん性	1.00				3m未満 50 ・60)		1に		2) トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
		単位面積質量		※通行の支障となる水たまりを生 ・	王じない程度		※芝、地被	※B種 ※20		・植栽部分 ・図示による	・適用する (T)	!	3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。
		厚さ(mm) ・0.5~1.0	6. 透水性アス	舗装の構成	(22. 7. 2、 3、 6)		~ 心心	· .		· 図水による	- 適用しない V 		表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値 化学物質名 室内濃度指針値
		引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・	ファルト舗装		(22: 7: 20 0)		植栽基盤の	排水設備 (※図示による	7	,	C		①ホルムアルデヒド     100 μg/m3   0.08       ②トルエン     260 μg/m3   0.07
		透水係数		骨材			・設ける		o •	,	定		③キシレン 200 μg/m3 0.05
		·1.5×10 <sup>-l</sup> cm/sec以上		・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再	再生骨材	3. 植込み用土	※現場発生	土の良質土			(23. 2. 3)		(4)エチルベンゼン     3,800 μg/m3     0.88       (5)スチレン     220 μg/m3     0.05
		試験 路床土の支持力比(CBR)試験		(標準仕様書表22.4.1による種舗装の平たん性	重類: ・60~80 ・80~100)		・客土						⑥パラジクロロベンゼン 240 μg/m3 0.04   ⑦テトラデカン 330 μg/m3 0.04
		・行う ※行わない 路床締固め度の試験		※著しい不陸がないもの		4. 土壌改良材	種類及び指・バーク				(23. 2. 3)		®アセトアルデヒド 48 μg/m3 0.03
		※行う・行わない		開粒度アスファルト混合物等の抽	由出試験		施工箇	所					⑩ フタル酸ジ-n-ブチル 17 μg/m3 0.0015
		現場CBR試験		・行う ※行わない			操	栽範囲・ 🛚	凶示による				⑪ フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
	2. 路盤	(22. 3. 2、3) (表 22. 3. 1)	フーブロック系舗4	 装 ・コンクリート平板舗装	(22. 8. 2, 3)				たり(・50L ・ 5泥コンポスト)	)			① ダイアジノン
	pi m	路盤の厚さ ・図示による ・	7 . 7 7 7 Noning				施工箇	所					<ul><li>⑤ 総揮発性有機化合物(TVOC)</li><li>400 μg/m3 (暫定目標値)</li></ul>
		路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種別)		・普通平板(N) ・300角 ※60 ・透水平板(P) ・	60 ※砂 表面加工 ・モルタル ・研ぎ出し		使用量					4. 測定する室	1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等
		・クラッシャラン		·保水性平板(M)	<ul><li>洗い出し</li></ul>		植栽	基盤面積1㎡あ	たり (・10L ・	)			· 室名:
		※再生クラッシャラン ・再生粒度調整砕石		クッション材	・たたき出し	5. 樹木	樹種、寸法※図示(	、株立数等 こよる			(23. 3. 2)		2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・ 室名:
		・クラッシャラン鉄鋼スラグ		※砂・空練りモルタル		6 +4		- J- W			(02 2 0 0)		
		・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ			ものとし、コンクリート平板間の段差は	6. 支柱	支柱材 ※丸太		・真竹		(23. 3. 2, 3)		・ 屋外(周囲の建物から離れた場所 1 か所) 
	3. アスファルト	   アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2~6)(表 22.4.4)		3mm以内とする。 ・			防腐処理方 ※加圧式	法 :防腐処理丸太	材			5. 測定結果等報	次の事項を記載した報告書を2部提出する。
	舗装	※図示による ・ 材料		 			形式	よる・				告書の提出	1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20° に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20°
		777 イ アスファルト ・再生アスファルト		種類 部位	形状 厚さ 曲げ強度 # #	7. 幹巻き用材料		J. W			(23. 3. 2)		湿度50%(c. ホルムアルデヒドについては25°C, 湿度50%(c. 補正 た濃度を報告すること。)
		(標準仕様書表22.4.1による種類:・60~80・80~100)		理規 部位 ※普通ブロック(N)	寸法 (mm) (N/mm2) <sup>1佣</sup> 与	/ ・軒巻さ用材料		用テープ	・わら及びこも		(23. 3. 2)		2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外,室内),天候、風の状況、
		・ストレートアスファルト 骨材		・透水性ブロック(P) 車路	・図示による     ※80     ※5.0     表面加工       ・     ・     ・	8. 芝	種類				(23. 4. 2、3)		射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事 完成から試料採取までの日数)
		・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材		・保水性ブロック (M)       ※普通ブロック (N)	・図示による ※60 ※3.0			イシバ ・ 法	ノシバ				3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し
		加熱アスファルト混合物等の種類		・透水性ブロック(P) 歩行者用通路 ・保水性ブロック(M)			平地		·. 7E ( )			6 7 0 114	
		・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)		クッション材			法面	張り ・ベナ				6. その他	表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値 超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。
		<ul><li>・密粒度アスファルト混合物 (13F)</li><li>舗装の平たん性</li></ul>		※砂・空練りモルタル 仕上り面の平たん性			※べた	張り法面	・目地張り				TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及 汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。
		※通行の支障となる水たまりを生じない程度			ものとし、インターロッキングブロック間の段差は	9. 吹付けは種					(23. 4. 2)		
		試験 マスファルト海合物学の抽出社会					<u>種·</u> ※洋芝類(	子の種類 採取後2年以内	発芽率 ) ※発芽率80%以。	種子の量 (g/m 上	備考		
		アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う					•						
		※行わない				10. 地被類					(23. 4. 2)		
							樹種	コンテ		当たりのコンテナ	数 芽立数		
							·	<u> </u>	•		•		
H		<u> </u>	l	1	宮城県仙台市青葉区本町3-	 「目8番1号 設計年	月日 記	直者氏名	設計者氏名	工事名称		1	全葉 図面 No
					電話 022-211-326 (FAX 022-211-3190	班)				网产力华			2001
					宮城県土木部営繕課					図面名称	特	記 仕 様 書 (1	Scale
Ш_											19	10 (1	·